

願いを込めた短冊をササの葉に飾る園児たち＝6日、  
沖縄市の一番街商店街



## みんなが幸せでありますように

## 短冊に願い込め七夕



【沖縄】きょう

7日は「七夕」。

沖縄市の一番街商店街と銀天街商店街には6日、小学生や保育園児たちが訪れ、「うなぎをたくさん食べたい」「みんなが幸せでありますように」など、かわいらしい願いを書いた短冊を飾った。通りには吹き流しも設置され、真夏の街を行き交う人を涼ませている。

一番街では5、6の両日で市内外の約20保育園から園児たちが訪れた。うるま市さわやか保育園の内間愛菜ちゃん(4)は「スイカとサクランボをたくさん食べて、スイートプリキュアになりたい」とほほ笑んだ。銀天街では七夕恒例の「そうめん流し」も行われた。招かれた安慶田小学校2年の児童90人が、短冊を飾った後、商店主たちが流すそうめんをおいしそうに頬張った。普久原彩音さん(8)は短冊に「おばあちゃん(8)の病気が治りますように。夏休みは楽しくできますように」と願いを込めた。

商店街の仲田健青年部長は「大人になっても古里の思い出として残ってくれたら」と笑顔を見せた。